

省エネ改修に係る所得税額の特別控除

適用期間：令和4年1月1日～令和5年12月31日

令和7年12月31日まで延長

下記の工事内容を確認しご自宅のリフォームで対象になると思われるものを、次ページの図面スケッチを参考に図示して下さい。尚、窓の大きさ（外気に接する全ての窓（ドアは除く））とサッシ・ガラスの仕様が必要です）

<標準的な工事費用相当額>

以下の表の「工事の内容」に応じ、「単位あたりの金額」に「単位」及び「割合」を乗じたものの合計額です。

省エネ改修工事の内容		単位あたりの金額 (税込)	単位	割合
窓の断熱性を高める工事 (ガラス交換については、窓の日射遮蔽性を高める工事を含む。)	ガラスの交換 (1 から8 地域 ^{※5} まで)	6,300 円	家屋の床面積の合計 (㎡)	外気に接する窓（既存の窓の室内側に設置する既存の窓と一体となった窓を含む。）のうち左欄の工事を行ったものの面積の合計を、外気に接する全ての窓の面積の合計で除した割合
	内窓の新設又は交換 (1、2 及び3 地域)	11,300 円		
	内窓の新設 (4、5、6 及び7 地域)	8,100 円		
	サッシ及びガラスの交換 (1、2、3 及び4 地域)	19,000 円		
	サッシ及びガラスの交換 (5、6 及び7 地域)	15,000 円		
天井等の断熱性を高める工事 (1 から8 地域まで)	2,700 円	集熱器面積 (㎡)	1	
壁の断熱性を高める工事 (1 から8 地域まで)	19,400 円			
床等の断熱性を高める工事 (1、2 及び3 地域)	5,800 円			
床等の断熱性を高める工事 (4、5、6 及び7 地域)	4,600 円			
太陽熱利用冷温熱装置（冷暖房等及び給湯の用に供するものうち、日本工業規格A4112 に適合するもの）の設置工事	151,600 円			
太陽熱利用冷温熱装置（給湯の用に供するものうち、日本工業規格A4111 に適合するもの）の設置工事	365,400 円			
潜熱回収型給湯器の設置工事	75,200 円			件 (台)
ヒートポンプ式電気給湯器の設置工事	412,200 円			
燃料電池コージェネレーションシステムの設置工事	1,057,200 円			
ガスエンジン給湯器の設置工事	458,300 円			
エアコンディショナーの設置工事	88,600 円	太陽電池モジュールの出力数 (kW)		
太陽光発電設備の設置工事	425,500 円		件	
特殊工事 ^{※6}	安全対策工事			37,600 円
	陸屋根防水基礎工事			44,000 円
	積雪対策工事			27,800 円
	塩害対策工事			9,000 円
	幹線増強工事	106,800 円		

※5 地域区分については、平成28年国土交通省告示第265号別表第10をご確認ください。

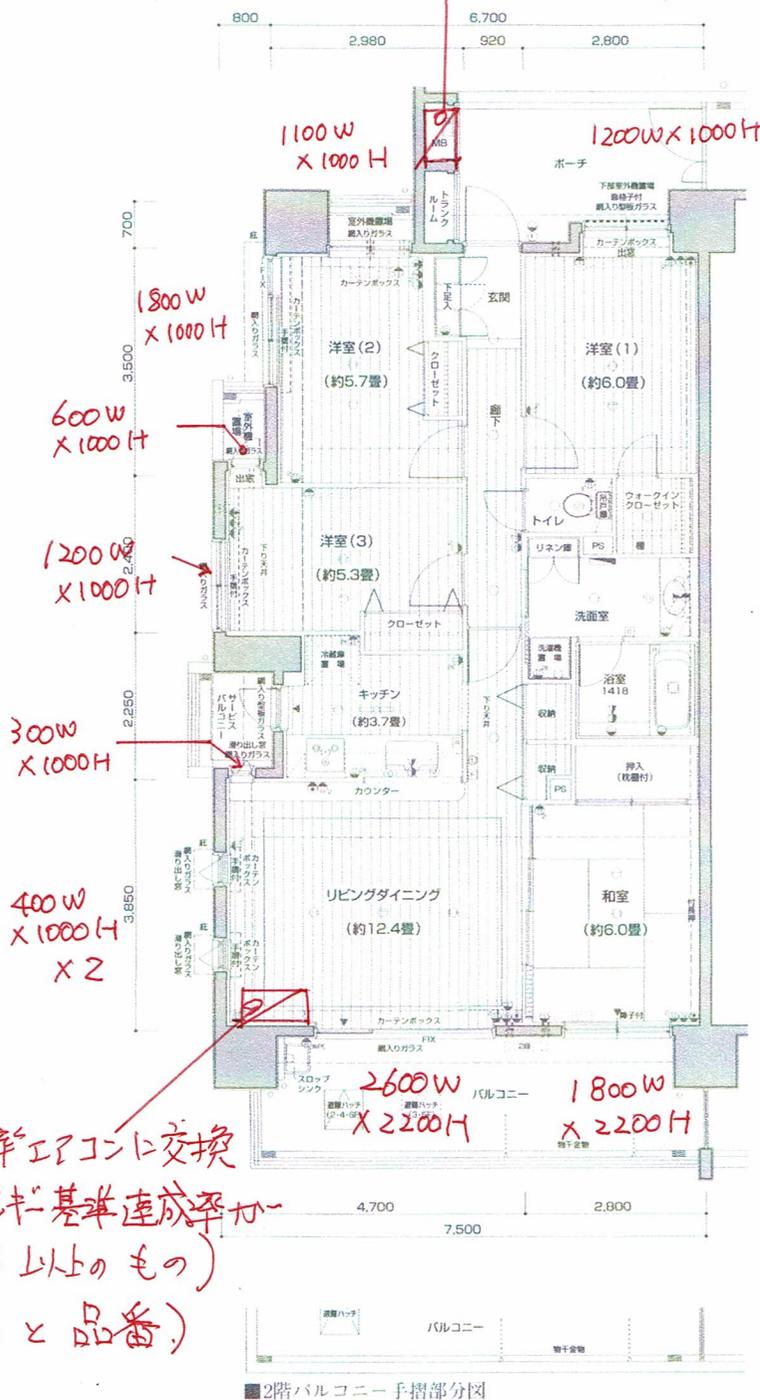
※6 工事の内容については、平成21年経済産業省告示第68号をご確認ください。

省エネ改修工事内容(対象になると思われる)

スリット

ガス給湯キを潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)に交換 (X-カー名と品番)

1-1ツ GT-C2462 ARX-2-BL



※新旧サッシ
ガラスの仕様
(又はX-カー)
をあて下へ。
(断熱化しないサッシの
寸法も必要です)

例1

サッシ仕様
全窓に設置
iクシル インテラス
ガラス 複層
Low-Eガラス
(外側: アルミ枠, 単板普通
ガラス)

例2

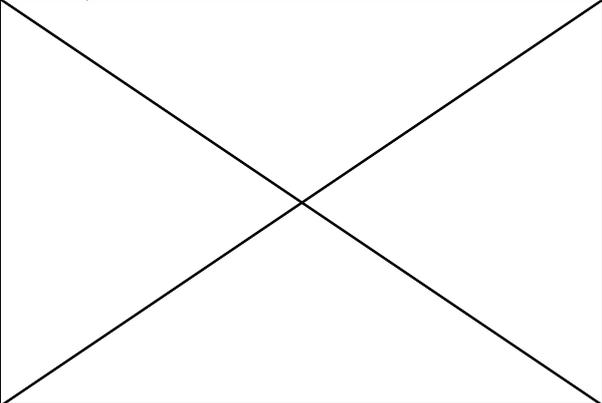
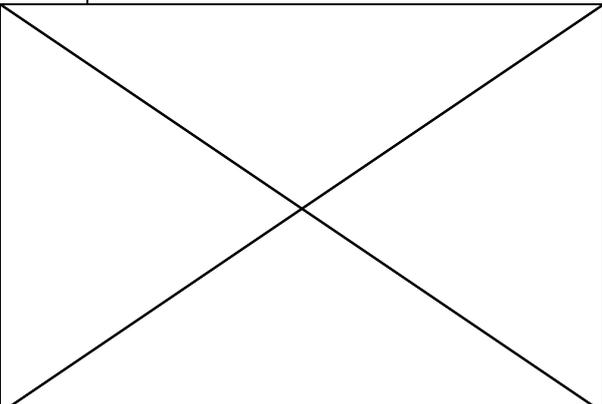
サッシ仕様
アルミ枠, 単板普通ガラスを
全窓ガラス交換。
日本板ガラス, スパシア(Low-E)

例3

例2のサッシ断熱化に加え
外気に接する壁の断熱材
を全て入れ替え
スタイロフォーム 35mm

2階バルコニー手摺部分図

- 分電盤
- ガス配管
- 2口コンセント
- 下階2口コンセント
- 蛍光灯
- 廊下灯
- ブラケット
- フットライト
- エアコン用コンセント
- インターホン(子機)
- インターホン(親機)
- 換気扇
- レンジ用換気扇

撮影部位		窓断熱(共通)	
着工前		着工後	
撮影部位		窓断熱(共通)	
着工前		着工後	
撮影部位		高効率エアコンの設置(リビング:ダイキンAN71YRPK)	
着工前		着工後	
撮影部位		エコキュートの設置(コロナCTU-HXE37AY5)	
着工前		着工後	